

科目名 (科目番号)	高齢者・障害者の 生活と援助 (092721)	教員名 矢花 光	学科等	保健栄養	選択	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー				
授業概要	高齢者・障害者における保健・医療・福祉の環境は大きく変化しており、介護福祉の専門性に求められているものはますます高くなっている。そこで、本講では高齢者・障害者の生活と、援助(支援)について理解すると共に、職業倫理、専門的な知識と技術、また、他職種連携における福祉職の役割に関して、できるだけ実際(現場)に近づけて説明、指導していく。ねらいは、介護に関する知識を根拠に基づいて習得し、活用できることである。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	オリエンテーション 介護の概念や対象	到達目標:介護の対象者について理解する。 学習内容:シラバスをもとに授業の進め方や留意事項等を学習する。				
	2	介護のはたらき・介護予防	到達目標:職業倫理、人権の擁護とは何かを考え、意味を理解する。 学習内容:介護の定義、介護の原則、目的等を学習する。				
	3	介護の対象、介護認定	到達目標:介護の対象の段階別の必要時間を理解し、介護認定の流れについて理解する 学習内容:介護の対象(高齢者・障がい児・者)、介護認定について学習する。				
	4	生活支援提供の場	到達目標:介護保険制度における様々な資源を理解する。 学習内容:介護提供の場について理解する。				
	5	生活支援提供の場、人間関係 形成技術(1)	到達目標:介護提供の場について理解し、人間関係形成技術について理解し、介護対象者の 思いなどを理解する。 学習内容:介護提供の場、人間関係形成技術について学習する。				
	6	人間関係形成技術(2)	到達目標:人間関係形成技術について学習し、適切なコミュニケーション技術を身につける。 学習内容:人間関係形成技術について学習する。				
	7	人間関係形成技術(3)	到達目標:人間関係形成技術について学習し、適切なコミュニケーション技術を身につける。 学習内容:人間関係形成技術について学習する。				
	8	人間関係形成技術(4)	到達目標:発達障害のある方とのコミュニケーション方法を理解し、支援方法について考える。 学習内容:VTR教材を用いて発達障害のある方について学習する。				
	9	生活支援技術(1)	到達目標:排泄介護の原則などについて理解する。 学習内容:介護技術(排泄介助)について学習する。				
	10	生活支援技術(2)	到達目標:入浴介助の留意点などについて理解する。 学習内容:介護技術(入浴介助)について学習する。				
	11	生活支援技術(3)	到達目標:食事の意味や食事介助の留意点などについて理解する。 学習内容:介護技術(食事介助)について学習する。				
	12	生活支援技術(4)	到達目標:着脱介助の方法などを理解する。 学習内容:着脱介助・褥瘡・社会生活の維持について学習する。				
	13	認知症ケア(1)	到達目標:認知症の主な原因疾患や心理特性等を理解する。 学習内容:認知症の主な原因疾患や心理特性等を学習する。				
	14	認知症ケア(2)・終末期ケア	到達目標:認知症ケアについて理解し、終末期ケアを理解する。 学習内容:認知症ケアの対応方法を学び、終末期の心理的・身体的変化を理解する。				
	15	福祉レクリエーション	到達目標:福祉レクリエーションの必要性を理解し、リハビリの支援につなげる。 学習内容:介護の現場における福祉レクリエーション体験し、必要性を学習する。				
成績評価の 方法・基準	授業内に行うミニレポート(10%)+試験(90%)						
教科書	介護概論(社会福祉学習双書2017)	社会福祉学習双書編集委員会	全国社会福祉協議会;改訂第8 版				
参考図書							
教員からの メッセージ	毎回授業ごとにリアクションペーパーと称したミニレポートを作成し提出してもらいます。リアクションペーパーは授業通信や直接コメントして返信・返却します。演習を中心に講義をするので、積極的に講義に参加するようにして下さい。授業内容は進捗状況によって変更することがあります。						